

# 先住民族としてのアイヌ

## ■先住民族とは

アイヌの人々は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族と認められていますが、先住民族とは何でしょうか。

先住民族の確定した定義はありませんが、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」(P4)は「先住民族とは、一地域に、歴史的に国家の統治が及ぶ前から、国家を構成する多数民族と異なる文化とアイデンティティを持つ民族として居住し、その後、その意に関わらずこの多数民族の支配を受けながらも、なお独自の文化とアイデンティティを喪失することなく同地域に居住している民族である」という考え方を示しています。

### 先住民族＝少数民族？

多くの場合、先住民族は少数民族でもあります。ただ、南米のボリビアやグアテマラなどは約40%が先住民族です。また、デンマークの自治領であるグリーンランドは住民の約90%を先住民族が占めています。つまり先住民族が数の上で必ずしも少数であるとは限りません。

※通常「少数民族」と訳される“minority”という概念も、数だけの問題ではないという議論もあります。

## ■先住民族を取り巻く問題

現在、世界では地球上の全人口の6.2%を占める約4億7,600万人以上の先住民族が、90か国に暮らしています。そして、それぞれが固有の文化や生活様式を持っています。

しかし、自らの土地を追われたり、劣悪かつ従属的な生活を強いられたり、伝統的な文化や生活様式を破壊されるなど、多くの先住民族がたどってきた道は抑圧の歴史であったといっても過言ではありません。

### 先住民族が直面する問題

- 天然資源の採掘などによる土地の没収や強制移住
  - 近代化に伴う環境破壊
  - 他民族の移入や伝染病などによる人口減少
  - 外来宗教への改宗と伝統宗教の衰退
  - 同化政策などによる他言語の強要と独自言語の衰退
    - 〳 伝統文化の否定・破壊
    - 〳 民族としての誇りの喪失
  - 民族差別による虐待、虐殺
  - 貧困
- など